

自ら学ぶ力の育成に関する研究

学習指導要領では、予測困難な社会を主体的・創造的に生きていくために、児童生徒が基礎的・基本的な知識を確実に身に付けることに加え、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質・能力を育むことがうたわれている。

本研究は、「学ぶことの楽しさ・よさ」を実感する活動を通して、児童生徒が学びの主体となって、「自らの学びを調整しながら、自ら学びの内容を深めたり学びの水準を高めたりする力」を養うことを目的とし、生涯にわたって学び続ける「自立した学習者」の育成につなげた。

<検索用キーワード> 自ら学ぶ力 生きる力 主体的に学習に取り組む態度
振り返り AARサイクル

研究協議会顧問

名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

柴田 好章（令和4、5、6、7年度）

研究協議会委員

江南市立宮田小学校教諭

小野 宏貴（令和5、6、7年度）

豊川市立中部小学校教諭

安田 了（令和5、6、7年度）

東浦町立北部中学校教諭

久田 大輔（令和5、6、7年度）

幸田町立幸田中学校教諭（現幸田町立坂崎小学校教諭）

山本 弘文（令和5、6年度）

幸田町立幸田中学校教諭

池田 千尋（令和7年度）

愛知県立松平高等学校教諭

林 佳宏（令和5、6、7年度）

愛知県立豊丘高等学校教諭（現愛知県立御津あおば高等学校教頭）

本田 英貴（令和5年度）

愛知県立豊丘高等学校教諭

鈴木 佑治（令和6、7年度）

愛知県立岡崎聾学校教諭

原 和大（令和5、6、7年度）

総合教育センター経営研究室長（現江南市立布袋小学校長）

佐々 恵（令和5年度）

総合教育センター研究指導主事（現半田市立板山小学校ならわ学園分校教諭）

大嶋 美穂（令和4、5、6年度）

総合教育センター研究指導主事（現愛知県立安城農林高等学校教諭）

中村 羊大（令和4、5年度）

総合教育センター研究指導主事（現西尾市立花ノ木小学校教諭）

神谷 厚毅（令和4、5年度）

総合教育センター研究指導主事（現豊川市立東部中学校教諭）

太田 恵里（令和4年度）

総合教育センター研究指導主事（現愛知県立名古屋聾学校教頭）

荒井 麻里（令和4年度）

総合教育センター研究指導主事（現中高一貫教育室指導主事）

志賀 充規（令和5年度）

総合教育センター研究指導主事（現愛知県立にしお特別支援学校教頭）

柴田 朋宏（令和5年度）

総合教育センター研究指導主事（現愛知県立豊田東高等学校教頭）

三浦千加子（令和6年度）

総合教育センター課長 補佐

武田 邦生（令和6、7年度）

総合教育センター研究指導主事

山田 和幹（令和5年度）

総合教育センター研究指導主事

青木 将司（令和6、7年度）

総合教育センター研究指導主事

林 俊樹（令和6、7年度）

総合教育センター研究指導主事

伊豆原章人（令和6年度）

総合教育センター研究指導主事

小岩めぐみ（令和6年度）

総合教育センター研究指導主事

中野 佳美（令和7年度）

総合教育センター研究指導主事

西川 聡（令和7年度）

総合教育センター研究指導主事（現豊橋市立豊橋高等学校教頭）

中元 大生（令和4年度主務者）

総合教育センター研究指導主事（現愛知県立春日井高等学校教頭）

伊藤 卓哉（令和5、6年度主務者）

総合教育センター研究指導主事

杉山 寛仁（令和5、6年度/令和7年度主務者）

1 はじめに

「OECDラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030」では、「教育の未来に向けての望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組み」として、児童生徒が「教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す」ことの必要性が唱えられている。これは、グローバル化の進展や技術革新、人工知能（AI）の発達により、10年先の将来ですら予測が困難な時代の中で、さまざまな変化に積極的に向き合い、一人一人が持続可能な社会の担い手として、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すためには、「自らの学びを調整しながら、自ら学びの内容を深めたり学びの水準を高めたりする力」が今まで以上に必要であることを示している。我が国でも、「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」（中央教育審議会第一次答申、1996年）において「生きる力」が提唱され、その中で「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」に言及しているが、これは現在の予測困難な時代を生き抜いていく児童生徒が身に付けるべき「自ら学ぶ力」と同様のものである。

本研究では、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を「自ら学ぶ力」と定義している。児童生徒にこの力を育むためには、学びに見通しをもち（Anticipation）、学びの中で学習方略を身に付け（Action）、学びを振り返る（Reflection）ことにより、次の学びへと向かう「AARサイクル」が有効であると考え。児童生徒が自ら「AARサイクル」を回し、「自ら学ぶ力」を向上させていくための教育活動の在り方を探るため、各研究協力校の実態に応じた手だてを講じ、試行錯誤しながら実践と分析を重ねていく。

2 研究の目的

「学ぶことの楽しさ・よさ」を実感する活動を通して、児童生徒が学びの主体となって、自らの学びを調整しながら、自ら学びの内容を深めたり学びの水準を高めたりする力や、生涯にわたって学び続けられる力を育成できることを明らかにする。

3 研究の方法

令和4年度は、所内研究として研究の方針について協議を進めた。令和5年度からは、研究協力校（小学校2校、中学校2校、高等学校2校、特別支援学校1校）の代表委員と所員による研究協議を行い、以下の(1)から(3)について、協力校での実践や協議を通して、その内容について成果と課題を検証した。

- (1) 愛知県総合教育センターが用意したツール、SWOTシート、アンケート（次ページ資料1）、段階図（次ページ資料2）を活用しながら、目指すべき児童生徒像を設定し、全教員が同じ児童生徒像（方向）に向かって教育活動を行い、その変容を捉える方法を考える。
- (2) 児童生徒がAARサイクルを回しながら学び続けるためには、児童生徒自身が「学びたい・振り返りたい」と思う必要がある。教科や行事等を横断的に連携させ、児童生徒が「学びの楽しさ・よさ」（学ぶ意義・価値）を実感できるよう、従前の教育活動を検討する（カリキュラム・マネジメント）。
- (3) 自らAARサイクルを回すには、児童生徒が「学習を見通し、振り返る」学びの過程を身に付ける必要がある。児童生徒に適した学びの過程を各学校で研究する。

【資料1 児童生徒アンケート】

内的調整	① 授業に楽しさや充実感を感じている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
内的調整	② 学校の授業以外のことで、楽しさや充実感を感じている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
内的調整	③ 授業の中で、夢中になって取り組めることがあった 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
内的調整	④ 学校の授業以外のことで、夢中になって取り組めることがあった 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
内的調整	⑤ 授業の内容について、不思議に感じたり、もっと詳しく知りたいと思うことがよくある 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
同一化的調整	⑥ 授業で学んだことが日常の生活に役に立っている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
同一化的調整	⑦ 学校の授業（や行事）は、自分の将来のためになっている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
達成・向上意欲	⑧ 難しいことでも失敗を恐れないで何事にも挑戦している 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
達成・向上意欲	⑨ 「自分でやる」と決めたことは、最後までやり遂げている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
達成・向上意欲	⑩ 苦手なこと（授業や勉強・学習）について、何とか工夫してやっている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
有能性・関係性	⑪ 授業の中で級友に質問したり、級友の質問に答えたりしながら学びを深めている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
有能性・関係性	⑫ 先生方は、わたしのことを認めてくれている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
有能性・関係性	⑬ 授業や行事を通して、自分らしさ（よいところ）を実感している 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
社会参画	⑭ 学校や地域（周り）のために進んで行動することができる 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
社会参画	⑮ 新聞・ニュース等で報道されている出来事について、級友や家族とよく話題にしている 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない
学習の技能・基盤	⑯ PC・タブレット端末などのICT機器を自らの学びを深めるために活用している 1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない

<参考>自己調整学習の段階 (Ryan & Deci (2002))

内的調整	おもしろいから活動するなど、活動そのものが目的
統合的調整	自分の価値観や目標と一致するから活動する
同一化的調整	自分にとって重要だから活動する
取り入れ的調整	恥ずかしさや不安により活動する
外的調整	外的報酬・罰により活動する

【資料2 自ら学ぶ力の段階図】

「自ら学ぶ力」の段階図（小学校低学年～高学年）

A B：語尾を「～できる、られる等」で統一

すすんで（ひらがな）

出あう		学ぶ		振り返る	
Lv.	ふれる	Lv.	知る・やる	Lv.	内容・結果
A	自らすすんで学習内容に「はてな・不思議」を見付けることができる	A	自らすすんで取り組むことができる	A	自らすすんで学習を振り返り、何ができるようになったか（何ができないか）が分かる
B	出あわせ方（教師）の工夫により、学習内容に興味をもつことができる	B	支援を受けながら取り組むことができる	B	支援を受けながら、学習を振り返り、何ができるようになったか（何ができないか）が分かる
C	出あわせ方（教師）の工夫をしても、学習内容に興味をもつことができない、興味をもとうとしない	C	支援を受けても取り組めない、取り組もうとしない	C	支援を受けても学習を振り返られない、振り返ろうとしない
Lv.	つかむ	Lv.	考える	Lv.	方略（一般）・過程（具体）
A	自らすすんで、何を学習するのかが分かる	A	自らすすんで考え、課題解決に向けて繰り返し試すことができる	A	自らすすんで（教師の助言を受け）学習したことが日常生活のどんな場面で活用できるか分かる
B	支援を受けながら、何を学習するのかが分かる	B	支援を受けながら、課題解決に向けて考えることができる	B	個別の支援を受けながら、学習したことが日常生活のどんな場面で活用できるか分かる
C	支援を受けても、何を学習するのかが分からない、分かろうとしない	C	支援を受けても、課題解決に向けて考えられない、考えようとしていない	C	個別の支援を受けても、どんな場面で活用できるか分からない、分かろうとしない
Lv.	見通す	Lv.	関わり合う	Lv.	実践性
A	自らすすんで、何ができるようになるのかが分かる（見通しがもてる）	A	自らすすんで他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりして、新たな価値に気付くことができる	A	自らすすんで学んだことのよさを実感し、他の学習や日常生活で活用することができる
B	支援を受けながら、何ができるようになるのかが分かる（見通しがもてる）	B	支援を受けながら、他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりすることができる	B	学んだことを同様の学習場面で再現することができる。
C	支援を受けても、何ができるようになるのかが分からない、分かろうとしない（見通しがもてない、もとうとしない）	C	支援を受けても、他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりできない、聞こうとしない	C	学んだことを同様の学習場面で活用できない、活用しようとしていない

4 研究の内容

当センターにおいて年間5回の研究協議会を実施した。また、研究2年次からは研究協力校を訪問し、研究推進のための授業参観や会議の参観等を行った。次の表は、研究に関わる研究協議会及び授業参観等の活動状況をまとめたものである。

研究年度	実施日	活 動 内 容
令和1年次 4年度	5月26日	協議会①：研究内容の検討、文献による研究、情報交換
	7月21日	協議会②：調査方法及び調査対象の検討①
	9月16日	協議会③：調査方法及び調査対象の検討②
	12月16日	協議会④：次年度の研究方針及び研究協力校について検討
	2月9日	協議会⑤：今年度の研究成果のまとめ、次年度の年間計画について検討
令和2年次 5年度	5月22日	協議会①：研究の概要、方針説明、情報交換及び方向性についての共通理解
	7月7日	協議会②：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	9月26日	研究協力校（中部小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	10月6日	協議会③：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	10月23日	研究協力校（宮田小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	10月27日	研究協力校（北部中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	11月6日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	11月8日	協議会④：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	11月8日	研究協力校（松平高等学校）訪問による授業参観及び研究協議
	12月4日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	12月13日	研究協力校（豊丘高等学校）訪問による授業参観及び研究協議
	1月22日	協議会⑤：本年度のまとめと次年度の取組について
	1月29日	研究協力校（宮田小学校）訪問による授業参観及び研究協議
2月6日	研究協力校（岡崎聾学校）訪問による授業参観及び研究協議	
令和3年次 6年度	5月22日	協議会①：研究の概要、方針確認、情報交換及び方向性についての共通理解
	6月12日	研究協力校（松平高等学校）訪問による授業参観及び研究協議
	6月21日	研究協力校（宮田小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	6月25日	研究協力校（岡崎聾学校）訪問による授業参観及び研究協議
	6月26日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	7月2日	研究協力校（中部小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	7月9日	研究協力校（北部中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	7月12日	協議会②：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	8月1日	研究協力校（豊丘高等学校）訪問による学校行事参観及び協議
	9月17日	協議会③：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	10月29日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	11月19日	協議会④：研究発表会（中間報告）に向けての準備
	11月29日	第64回総合教育センター研究発表会（第2部会）にて中間報告
	12月11日	研究協力校（岡崎聾学校）訪問による授業参観及び研究協議
	1月28日	協議会⑤：本年度のまとめと次年度の取組について

令和4 7年 次 度	5月21日	協議会①：研究の概要、方針確認、情報交換及び方向性についての共通理解
	6月13日	研究協力校（北部中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	6月16日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	6月25日	研究協力校（宮田小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	7月4日	協議会②：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	7月16日	研究協力校（豊丘高等学校）訪問による授業参観及び研究協議
	8月20日	研究協力校（岡崎聾学校）訪問による研究協議
	9月9日	研究協力校（北部中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	9月10日	研究協力校（松平高等学校）訪問による学校行事参観及び協議
	9月10日	研究協力校（中部小学校）訪問による学校行事参観及び協議
	9月16日	協議会③：研究の進捗状況及び課題に関する協議、情報交換
	9月29日	研究協力校（宮田小学校）訪問による授業参観及び研究協議
	10月15日	研究協力校（岡崎聾学校）訪問による授業参観及び研究協議
	10月24日	研究協力校（幸田中学校）訪問による授業参観及び研究協議
	11月14日	協議会④：研究発表会に向けての準備
	11月28日	第65回総合教育センター研究発表会（第1部会）にて本発表
1月28日	協議会⑤：研究のまとめと成果還元 of 取組について	

本研究の研究協力校と研究主題については、次のとおりである。次ページからの実践報告では、各研究協力校における3年間の研究実践の詳細を述べる。

	学 校 名	研 究 主 題
①	江南市立 宮田小学校	感動がうまれる授業の創造 －ウェルビーイングの向上を目指して－
②	豊川市立 中部小学校	笑い声が響く♪中小っ子 ～学びの笑顔につなげる工夫～
③	東浦町立 北部中学校	主体的に考え、判断し、行動できる生徒の育成
④	幸田町立 幸田中学校	命輝く生徒の育成 ～学ぶ意欲を高め、学び合いを創り出す授業づくり～
⑤	愛知県立 松平高等学校	生徒の自ら学ぶ力を育成するための 成功体験の生かし方及び振り返りの在り方について
⑥	愛知県立 豊丘高等学校	目標設定し、見通しと振り返りを通じた、自ら学ぶ力の育成
⑦	愛知県立 岡崎聾学校	試行錯誤で育む やる気と自ら学ぶ力 ～〇〇したい！岡聾っ子～